

第2回常磐公園改修事業基本計画検討懇談会



2011年 8月23日(火)

13:30 ~ 16:00

於：川のおもしろ館 研修室

整備方針及び整備の基本的な考え方

～ 地域資源を活かした文化・芸術を基調とする魅力ある都心空間の形成～

常磐公園全体 動線確保やサイン施設等により、文化芸術ゾーンを結び
回遊性を向上させる公園整備

施設周辺区域 公会堂・常磐館の機能を強化するとともに、河川空間や
常磐公園と一体化した整備

河川空間 文化芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上のための整備

整備にあたっての課題

常磐公園全体

- 課題1 全体的に駐車場が不足している。
- 課題2 公園の入口の位置がわかりづらい。
- 課題3 樹木などによりうす暗いイメージの箇所が存在する。

施設周辺区域

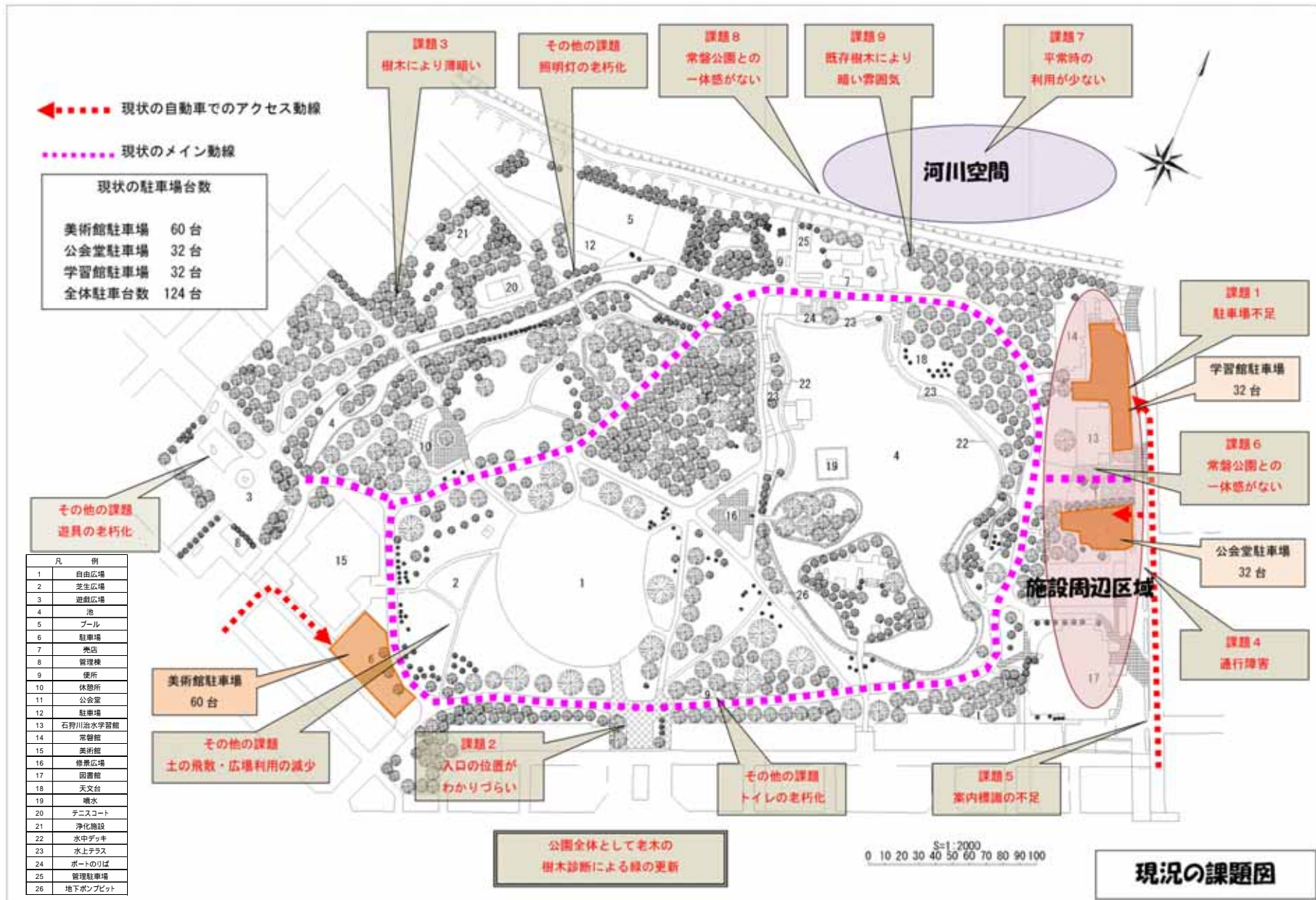
- 課題4 図書館前道路の一時停車車両による通行障害が見られる。
- 課題5 周辺部から各施設への案内標識の不足が見られる。
- 課題6 各施設間の回遊性、常磐公園との一体感が弱い。

河川空間

- 課題7 イベント時には多くの市民が集まるが、平常時には利用が少ない。
- 課題8 常磐公園と河川空間が分断され一体性がない。
- 課題9 堤防付近は樹木により暗い雰囲気になっている。

その他維持管理面からの課題

- ・ 老朽化した樹木に対する公園来訪者への安全確保。
- ・ 多目的広場の土の飛散が激しく水溜りも出来ている。機能を含めた検討が必要。
- ・ 遊戯広場の遊具や照明灯など施設の老朽化にともなう施設更新が必要。
- ・ 一定の役割を終えた石造や記念碑の扱いについて。
- ・ 公園全体の雨水排水施設の見直し。



第1回懇談会での意見内容

常磐公園全体

- ・多くの市民や観光客の方々に来てもらえる動線の整備や駐車場の整備が必要。
- ・公園内には非常に老朽化した樹木が多く、枯れ枝の落下や倒木の危険性がある。
- ・常磐公園の緑の考え方は、旭川市全体の緑の量に対する役割を意味する。
- ・公園付近の住民にとっては、花粉が非常に問題となっている。
- ・公園内には樹木を含めた自然の遺産があり、快適性・利便性だけでなく、緑の世代交代を専門的オブザーバーを置いた意見が必要。

河川空間

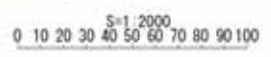
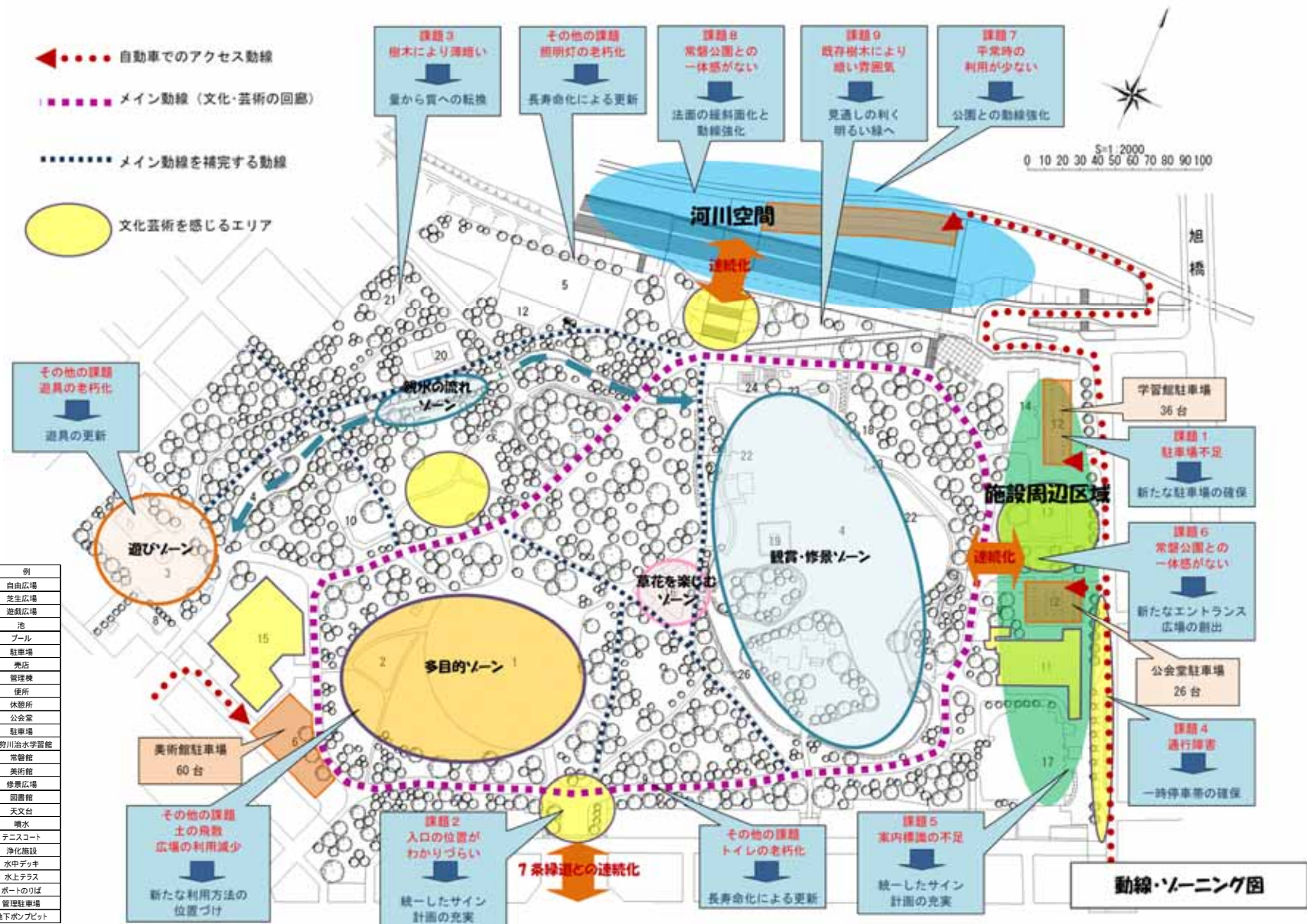
- ・夏祭りの開会式や花火大会などのイベントの時は堤防全体が人で埋まり急斜面による危険性が大きい。
- ・親水空間をつくることによる危険性への対策が必要。
- ・旭川開発建設部が係る築堤緩傾斜化工事予定と文化芸術ゾーン基本構想による常磐公園改修事業の議論の関連性の明確化。



現況の課題及び第1回懇談会を踏まえ…

- ◀.....自動車でのアクセス動線
-メイン動線（文化・芸術の回廊）
-メイン動線を補完する動線
- 文化芸術を感じるエリア

凡	例
1	自由広場
2	芝生広場
3	遊戯広場
4	池
5	プール
6	駐車場
7	売店
8	管理棟
9	便所
10	休憩所
11	公会堂
12	駐車場
13	石狩川治水学管館
14	常設館
15	美術館
16	修景広場
17	図書館
18	天文台
19	噴水
20	テニスコート
21	浄化施設
22	水中デッキ
23	水上テラス
24	ボートのりば
25	管理駐車場
26	地下ポンプビル



動線・ゾーニング図

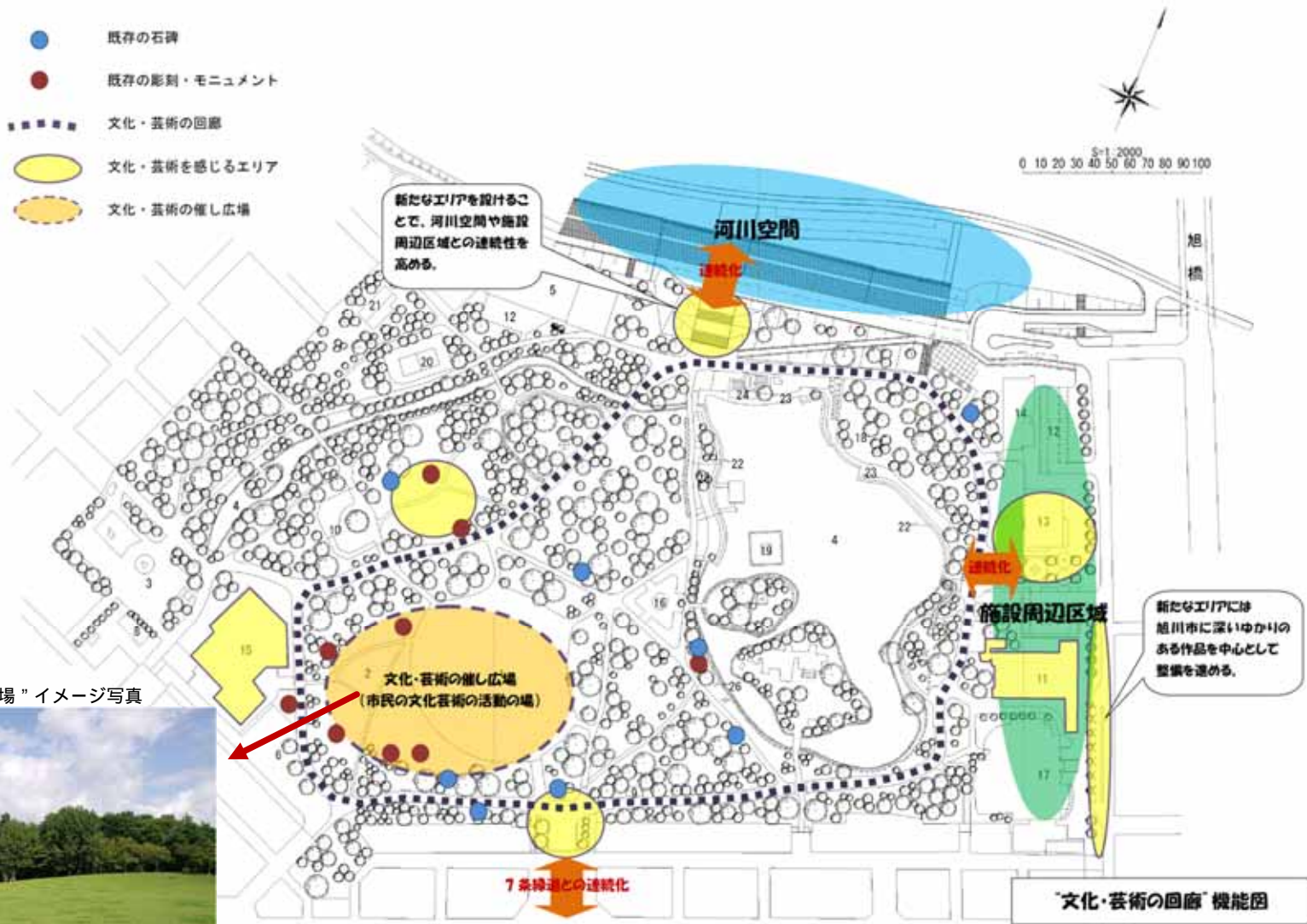
常磐公園改修事業の整理内容（案）

常磐公園全体 動線確保やサイン施設等により、文化芸術ゾーンを結び
回遊性を向上させる公園整備

- ・ 既設美術館と公会堂また、河川空間を結ぶ公園内のメイン園路を“文化・芸術の回廊”と位置づけ、モニュメントや彫刻を始め、公園内のみどりを楽しみながら回遊できる園路として計画します。
- ・ 既存のモニュメントや彫刻がある場所のほかに、新たにメイン入口、学習館横エントランス広場、緩傾斜化した堤防付近を新たなエリアとすることで、来訪者の回遊性を高めるほか、河川空間や施設周辺区域との一体的な利用向上を高めます。
- ・ 新たなエリアには旭川市に深くゆかりのある作品（彫刻・モニュメント）の配置により整備を進めていきます。
- ・ 既存の自由広場は土埃が舞い、利用が減少していることから市民の活動の場として利便性の高い広場の整備をし、“文化・芸術の催し広場”として展開していきます。
- ・ 上記広場では、市民の文化・芸術の活動の場（屋外コンサートや演劇など）として利用できるようステージや電源コンセントを整備します。

凡	例
1	自由広場
2	芝生広場
3	遊戯広場
4	池
5	プール
6	駐車場
7	売店
8	管理棟
9	便所
10	休憩所
11	公会堂
12	駐車場
13	石狩川治水学習館
14	常盤館
15	美術館
16	修養広場
17	図書館
18	天文台
19	噴水
20	テニスコート
21	浄化施設
22	水中デッキ
23	水上テラス
24	ボートのりば
25	管理駐車場
26	地下ポンプビット

- 既存の石碑
- 既存の彫刻・モニュメント
- 文化・芸術の回廊
- 文化・芸術を感じるエリア
- 文化・芸術の催し広場



“文化・芸術の催し広場”イメージ写真

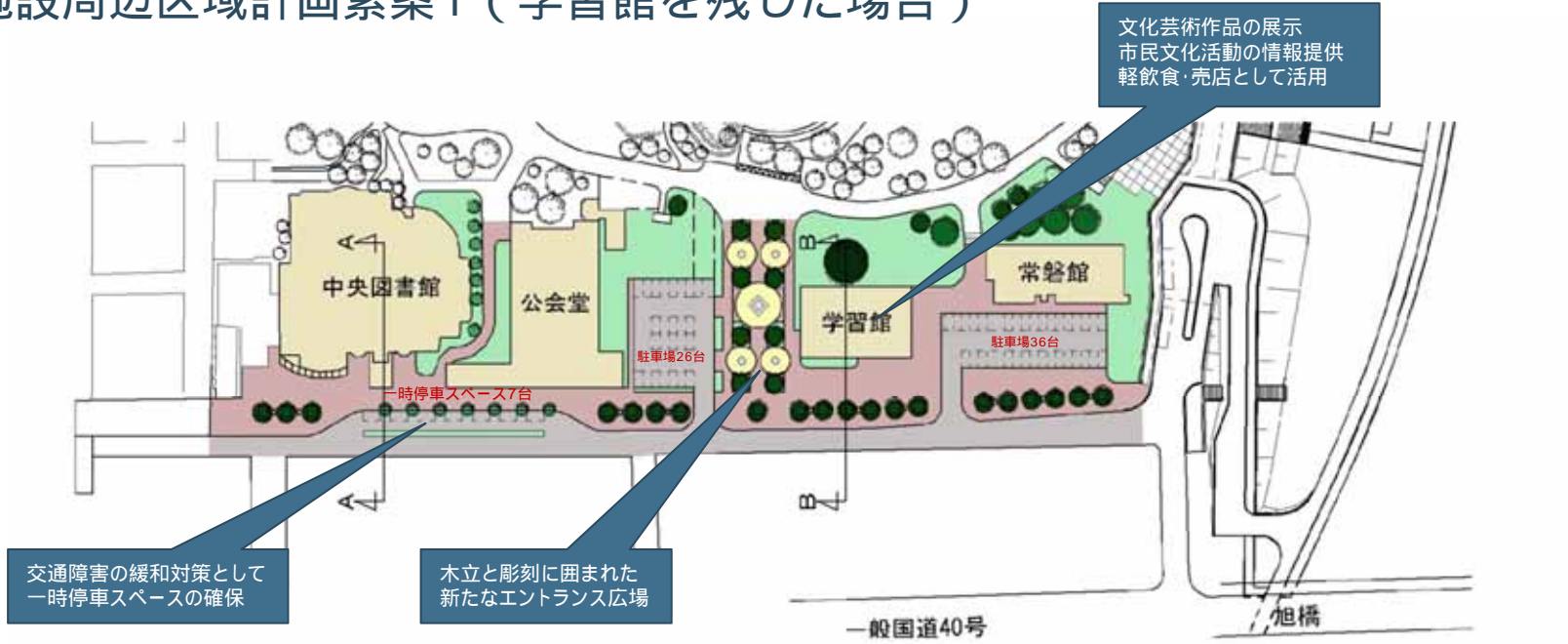


常磐公園改修事業の整理内容（案）

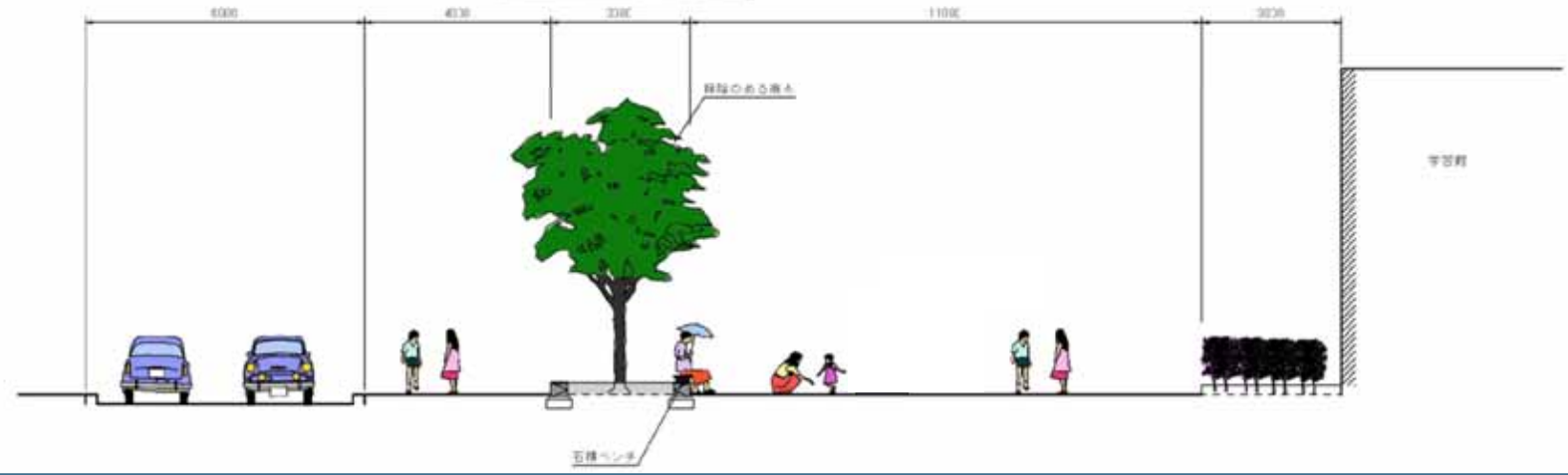
施設周辺区域 公会堂・常磐館の機能を強化するとともに、河川空間や常磐公園と**一体化**した整備

- ・ やすらぎと利便性に優れた都心空間となるよう、学習館横に新たな**エントランス広場を整備**します。エントランス広場では、文化・芸術ゾーンにふさわしい彫刻やモニュメントを配置するとともに、**常磐公園との連携**を高めた計画とします。
- ・ エントランス広場を始め、周辺施設への円滑な利用を促す**案内サインの充実**を図ります。
- ・ 図書館及び公会堂前には、路上駐車による交通障害を緩和するため、**一時停車スペース（7台程度）を確保**します。
- ・ 常磐公園及び周辺施設への円滑なアクセスを確保するため、利便性に配慮した駐車場を再配置します。

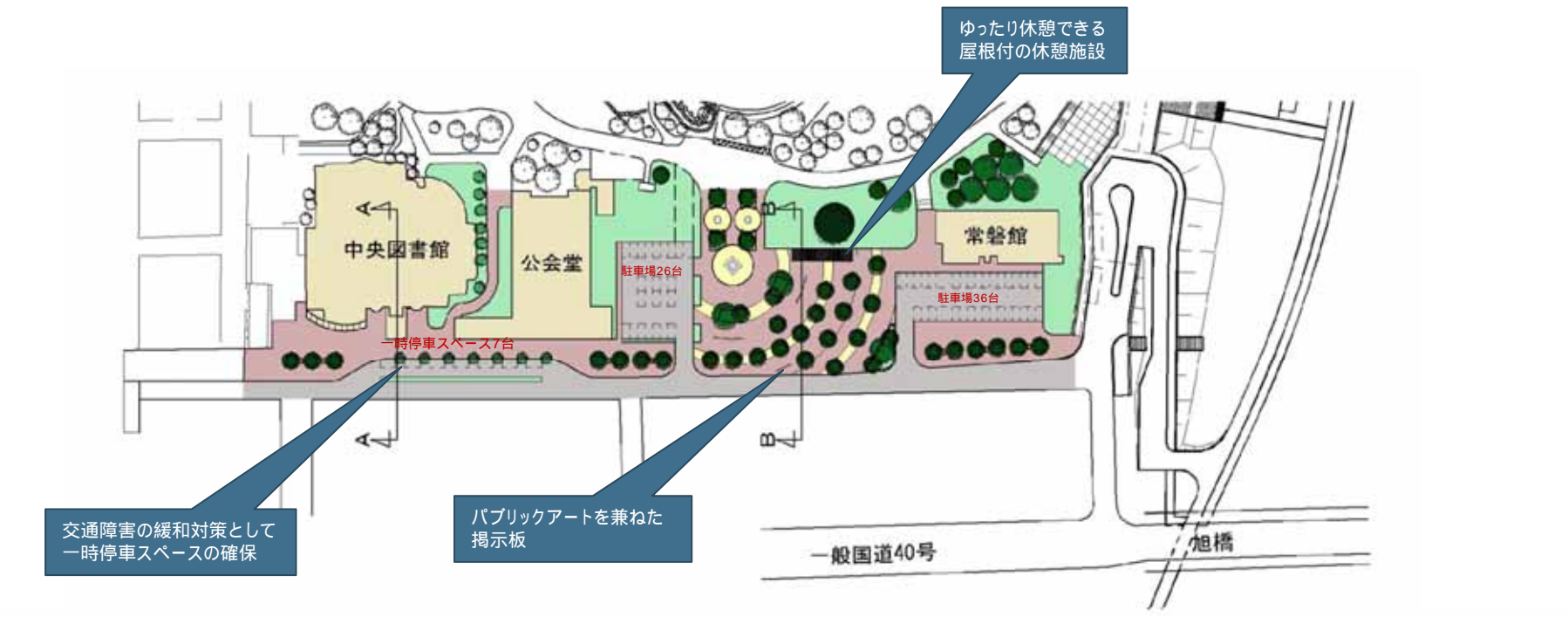
施設周辺区域計画素案1（学習館を残した場合）



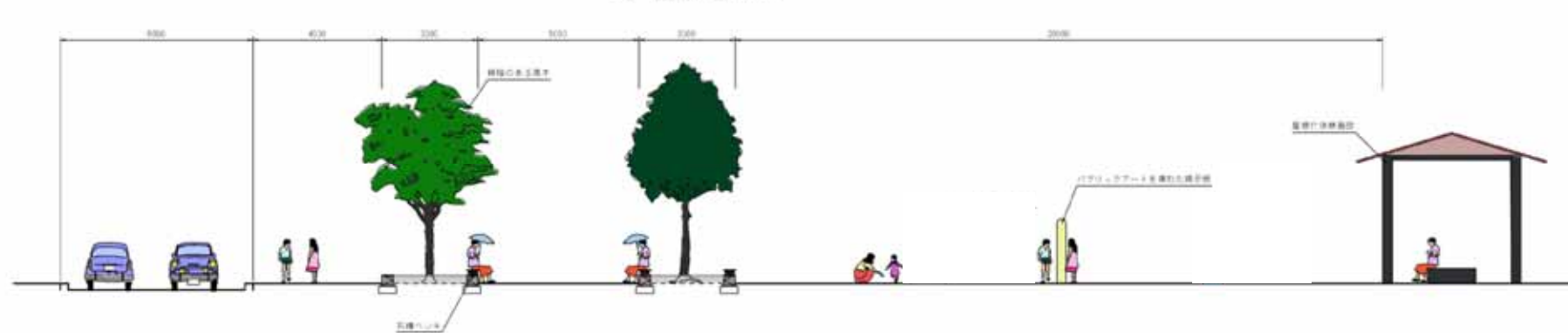
B-B断面（学習館在り）



施設周辺区域計画素案2（学習館を撤去した場合）

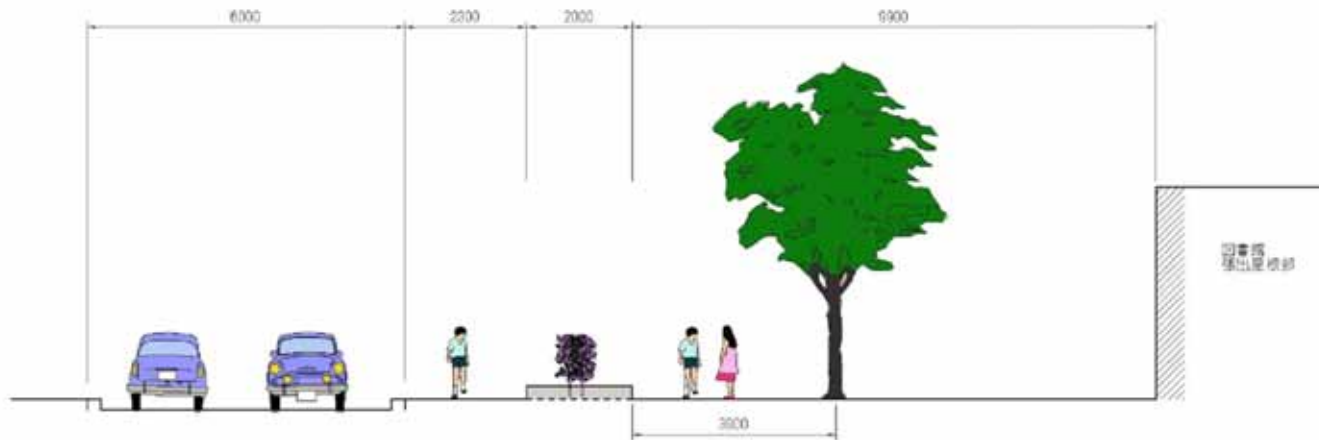


日一日断面（学習館なし）

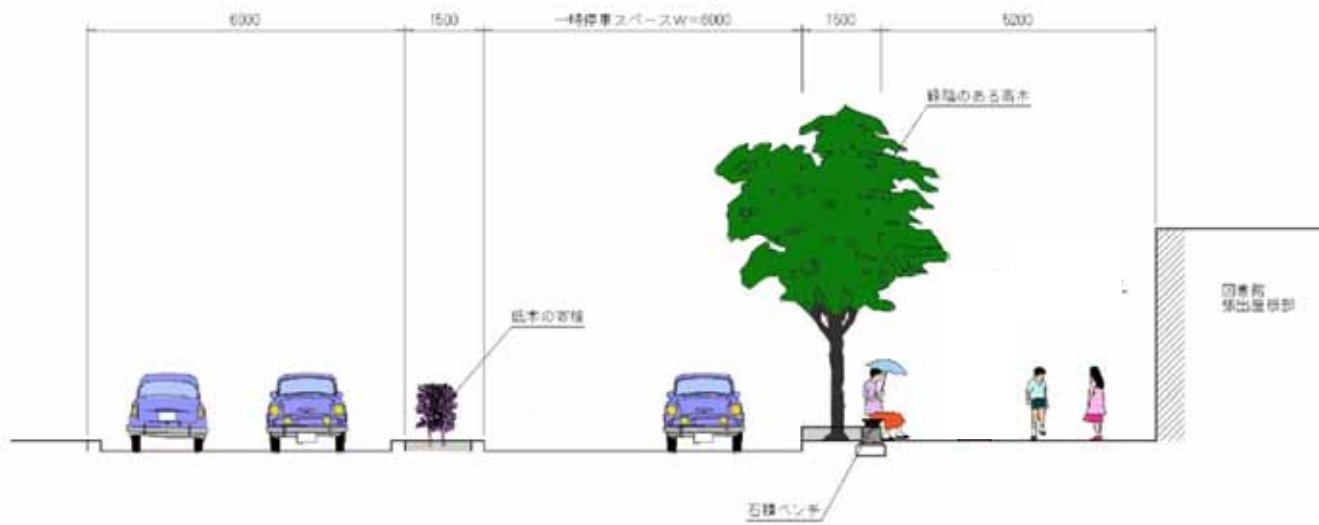


図書館・公会堂前庭部断面図

A-A断面（現況）



A-A断面（計画）



常磐公園改修事業の整理内容（案）

河川空間 文化芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上のための整備

- ・ 堤防を緩斜面化することにより、常磐公園との一体的な利用促進を進めます。
- ・ 常磐公園の慢性的な駐車場不足を補うべく、常設80台の駐車場を確保するとともに、常磐公園との動線を強化します。
- ・ 既存の樹木は専門的な見地に基づき、見通しの利く明るいまどりの空間とします。
- ・ 賑わいのある水辺空間を創出するという観点からオープンカフェの社会実験を進めていきます。



河川空間側築堤緩傾斜化の整備内容及び整備工程

常磐築堤改修工事（かわまちづくり事業）

平成23年度 物件補償

平成24年度 物件補償が整理つき次第、堤防緩斜面化工事着手

常磐公園改修事業

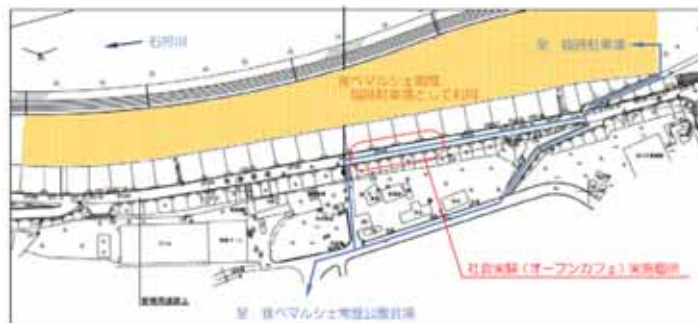
平成23年度 基本計画策定

平成24年度 実施設計、工事着手（完了時期未定）

- ・ 河川敷駐車場の計画は文化芸術ゾーン基本構想内容（常時80台、臨時200台）で進めている。
- ・ 常磐公園に立地している既存売店の補償業務は進行中
- ・ 常磐公園内のプールには影響のないよう進めている。

川まちづくり オープンカフェ進捗状況

- ・「食べマルシェ2011(9/17~19)」期間中に実施
- ・常磐築堤上に8基のパラソルを設置するとともに、移動式販売車(3台程度)により有料で飲食類の提供。

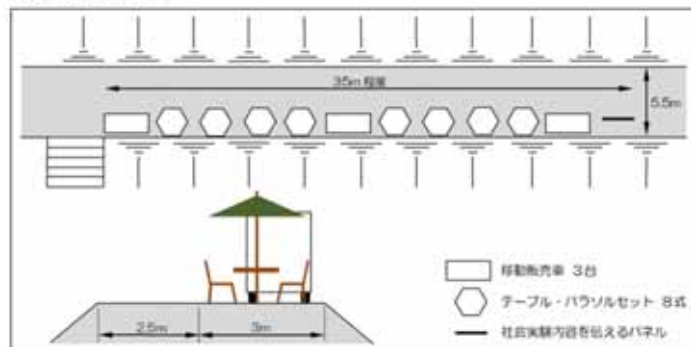


水辺のオープンカフェイメージ写真



整備前

社会実験実施イメージ



整備後

